

パーム・カカオ調達方針説明会

～持続可能な生産・消費の推進に向けて～

2020年7月20日（月）

本日のプログラム

15 : 00～15 : 10

ESG経営と当社グループ調達方針

門田 隆司

15 : 10～15 : 40

パーム・カカオのサステナブル調達コミットメント

科野 裕史

15 : 40～16 : 00 **ディスカッション**

16 : 00～16 : 15 **質疑応答**

本日の登壇者

プレゼンター



取締役
上席執行役員
C"ESG"O
門田 隆司

プレゼンター



執行役員
油脂・チョコレート
事業部門長
科野 裕史

ファシリテータ



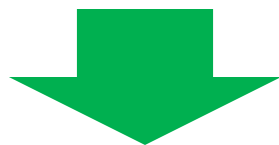
(CEO補佐)
河口 真理子

ESG経営と 当社グループ調達方針

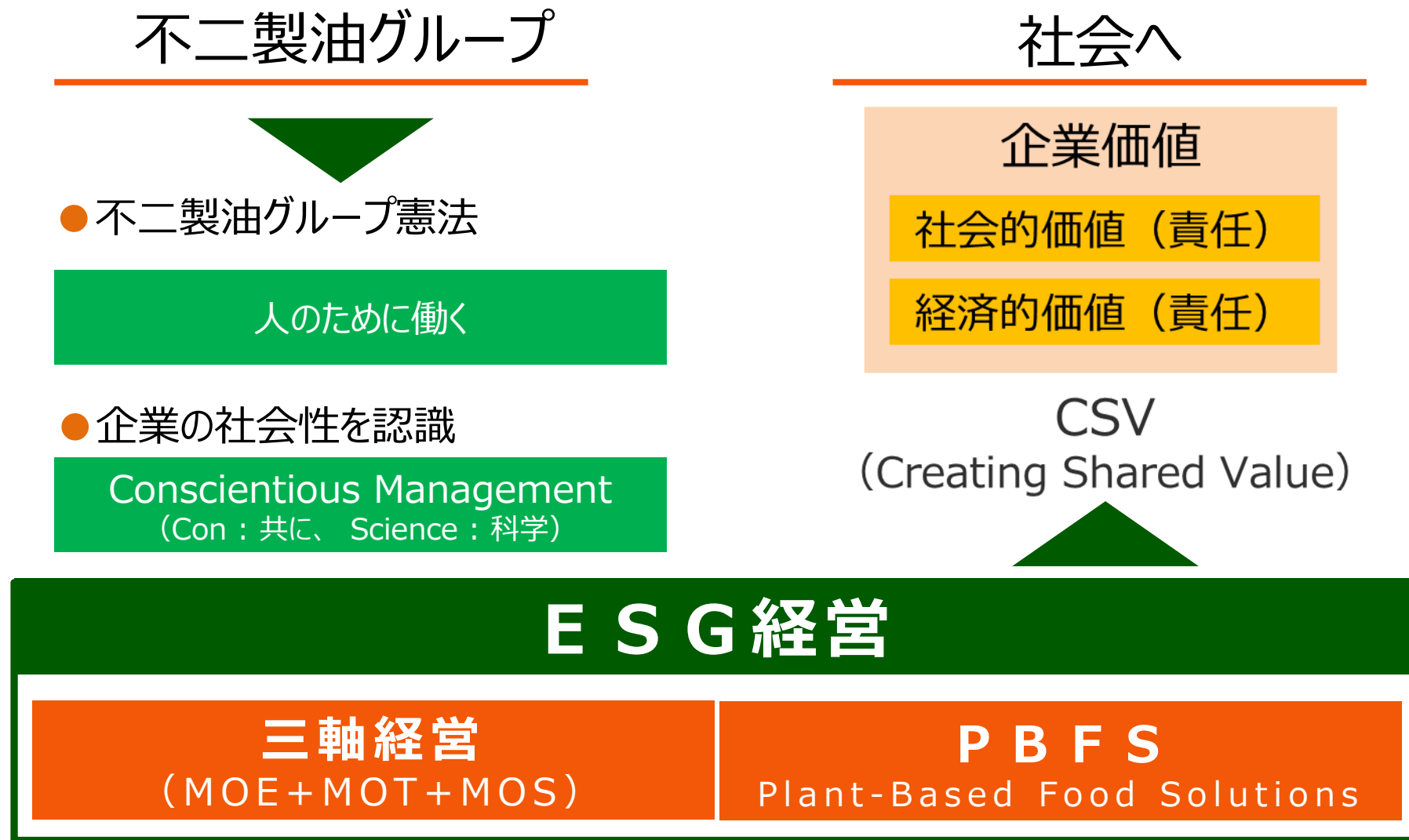
取締役
上席執行役員C“ESG”O
門田 隆司

C"ESG"O ?

Chief ESG Officer



持続的な『社会の発展』のため、
社会の一員として、事業の中で社会課題に取り組み、
『不二製油グループの企業価値向上』を
実現することを目的とした役職



新たな「食」の創造と、持続可能な未来へ向けて 世界でグループの価値観を共有

私たち不二製油グループは、食の素材の可能性を追求し、食の遊びと健康に貢献します。

私たちは、油脂と大豆事業を中核に、おいしさと健康で社会に貢献する、食の未来創造カンパニーを目指します。

安全と品質、環境

人のために働く

挑戦と革新

スピードとタイミング

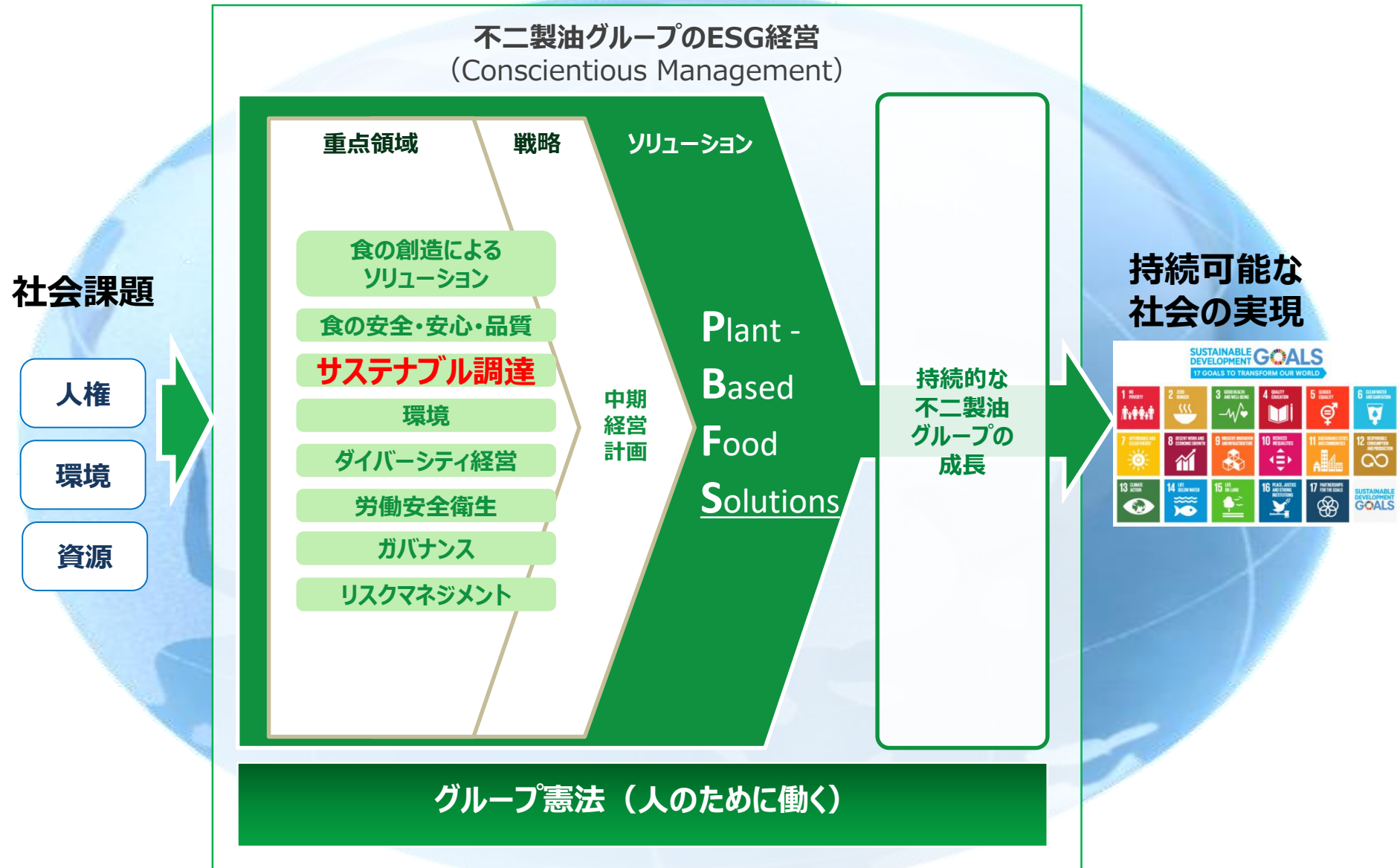
ミッション
使命・存在理由

ビジョン
目指す姿

バリュー
行動する上で
持つべき価値観

プリンシプル
行動原則

不二製油グループのESG経営



サステナビリティコミットメント

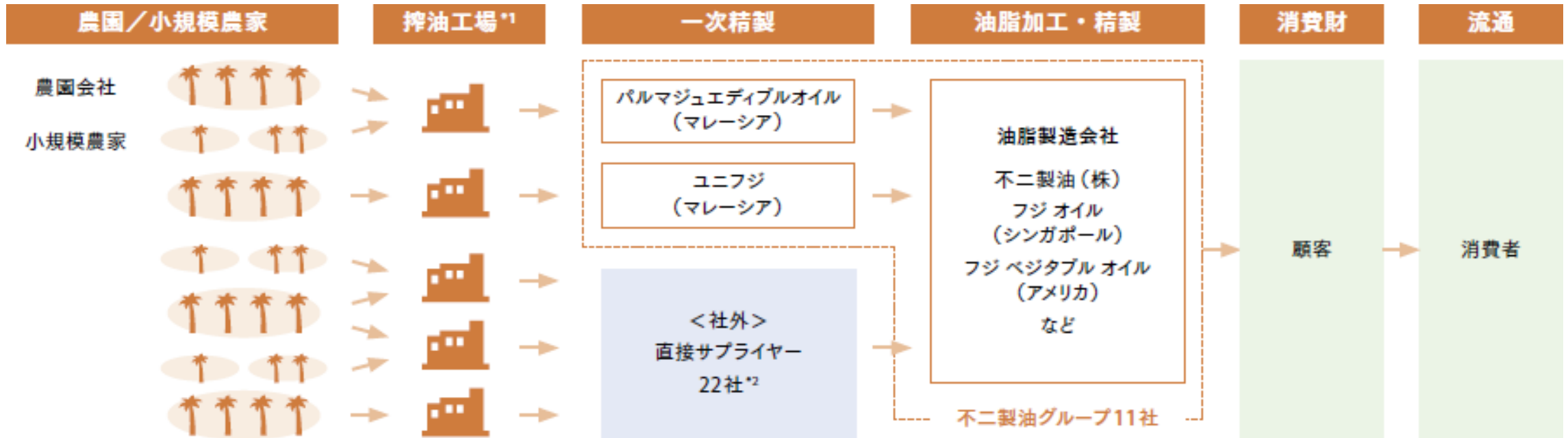
執行役員 油脂・チョコレート事業部門長
科野 裕史

サステナブル調達コミットメント

気候変動抑制・生物多様性、人権問題への取組み

中長期目標		2025	2030	最終目標
パーム	森林破壊防止	TTP 75%	TTP 100%	NDPE
	搾取防止	労働環境改善 100% (主要子会社)	労働環境改善 100% (全直接サプライヤー)	
カカオ	児童労働撤廃	WFCL ゼロ	児童労働ゼロ	児童労働撤廃、 森林再生
	森林再生	植樹50万本	植樹100万本	

パームサプライチェーン

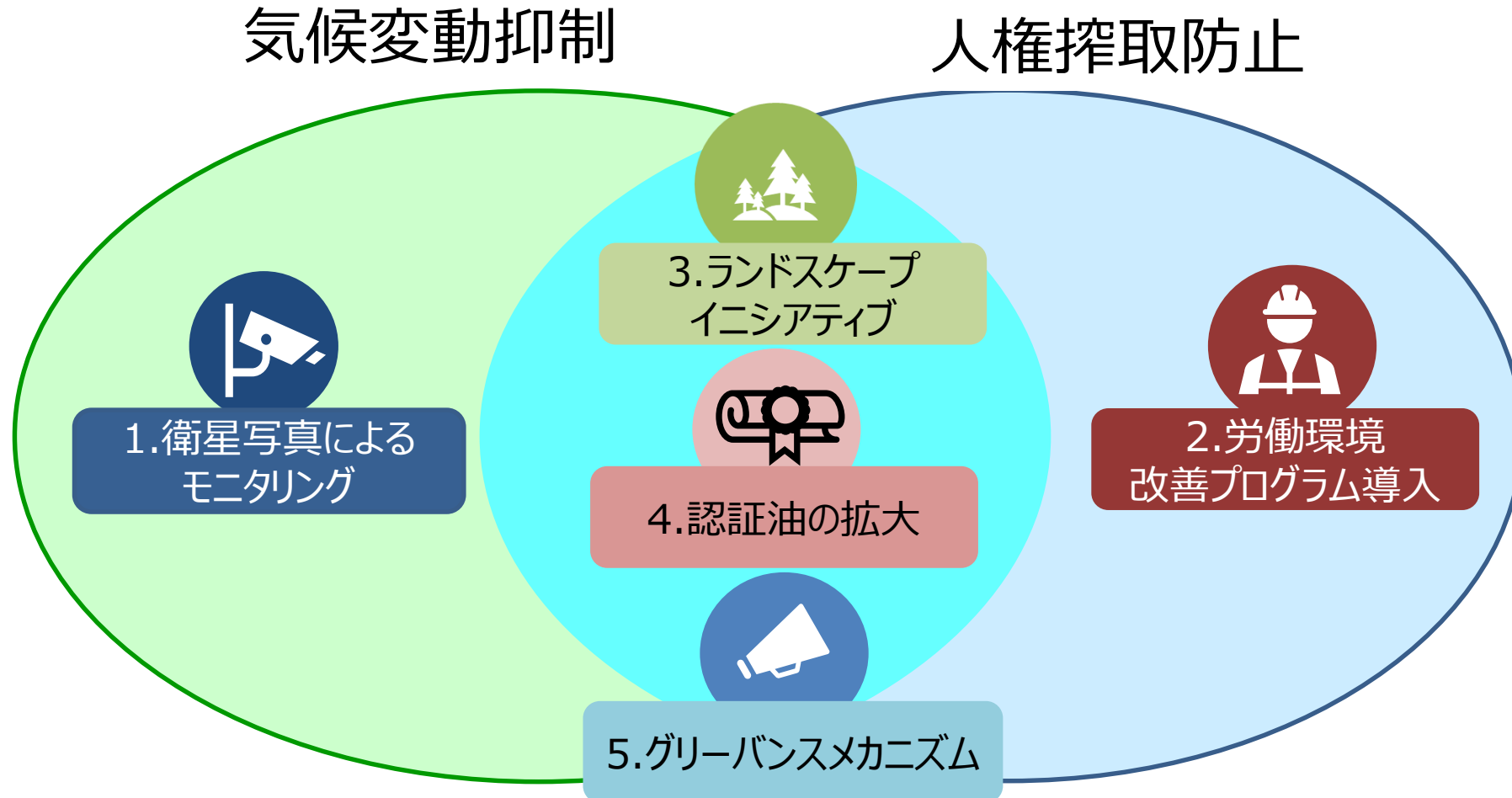


パーム：最重要課題

- **気候変動抑制への取組み**
 - パーム農園開発区域内や農園拡張時の違法な森林破壊や泥炭地開発ゼロ
- **人権問題への取組み**
 - 労働者に対する搾取ゼロ

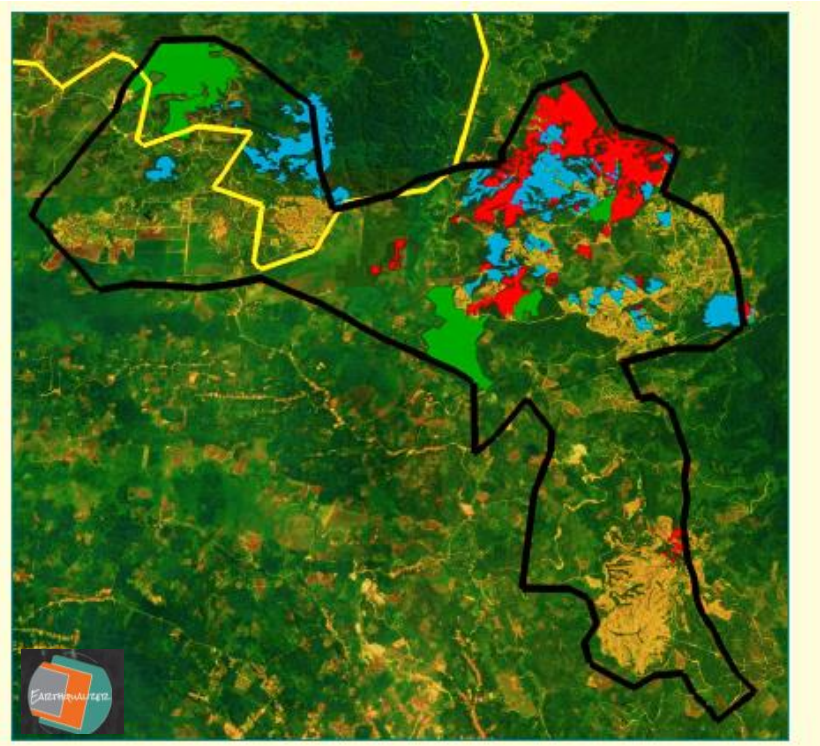
	NDPE達成に向けた取り組み
	主な調達先 6割マレーシア、4割インドネシア
1	衛星写真によるモニタリング（地域：インドネシア）
2	労働環境改善プログラム（場所）
3	ランドスケープイニシアティブ（インドネシア・アチェ州）
4	認証油の拡大（全部）
5	グリーンバンスメカニズム（場所）

NDPE達成方針



1.衛星写真によるモニタリング

衛星写真によるパーム農園開発区域の森林破壊をモニタリング



不二製油グループでは、自社のパームサプライチェーンにおける森林破壊のリスクを軽減するため、国際NGOと連携し、衛星写真を使用してサプライヤーのパーム農園開発区域をモニタリングすることにより森林伐採の状況を把握します。

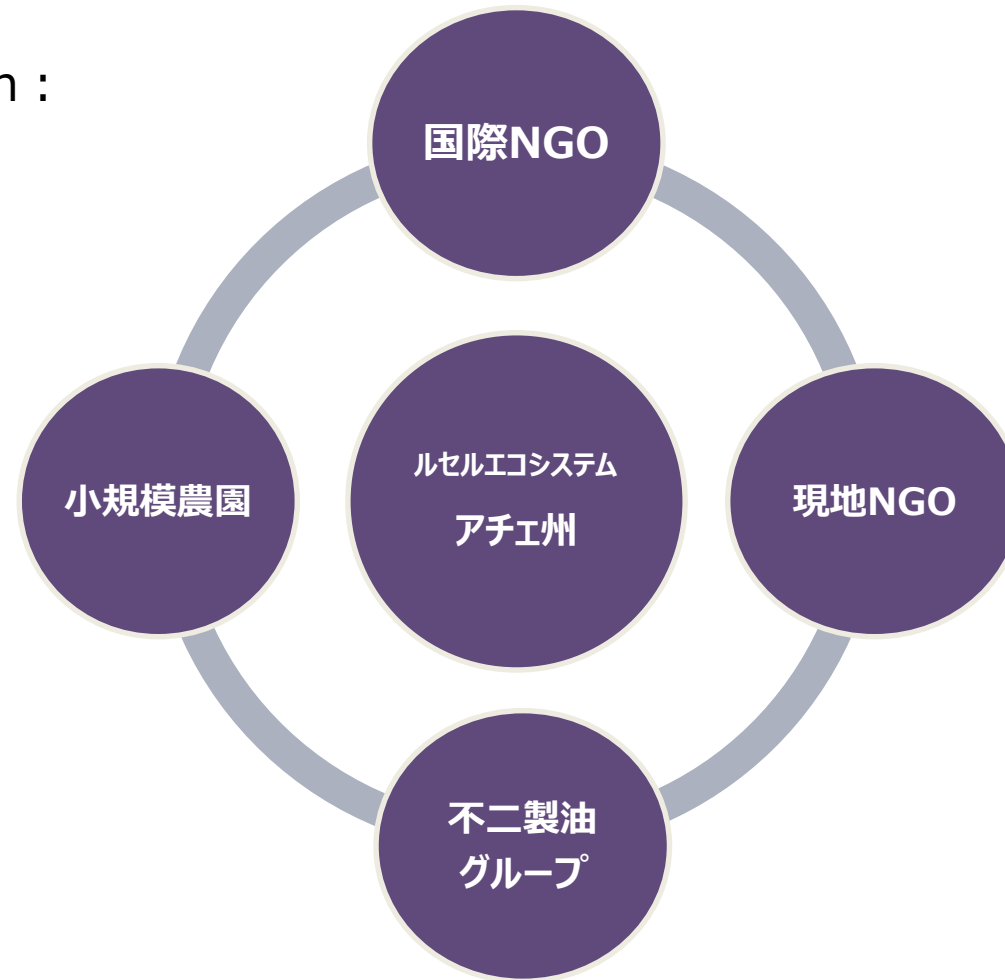
森林破壊に関する情報は月1回提供されます。モニタリングの範囲は農園までのトレーサビリティ（TTP）データの提供に基づきます。

2.労働環境改善プログラム

1. 1対1のサプライヤーエンゲージメントプログラム
2. 特定されている以下の労働問題に対応するための能力開発
 - 移動の自由
 - 雇用契約
 - 倫理的雇用
 - グリーバンスメカニズム（苦情処理システム）
 - 賃金および労働時間
 - 結社の自由
 - 安全衛生
 - 労働者の住居

3. ランドスケープイニシアチブ（インドネシア、アチェ州のAPT 2018～）

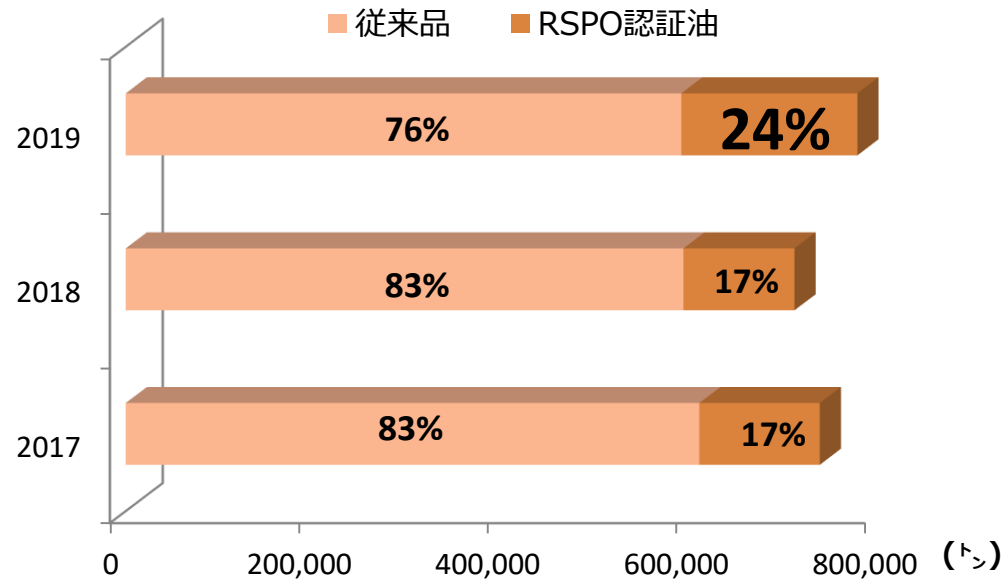
Area Prioritized Transformation :
（優先度の高い地域での構造改革）



不二製油は、2018年から、様々なステークホルダーが関与する共同ランドスケープイニシアチブに参画し、現地NGO、国際NGO、サプライヤー、小規模農園と連携して森林破壊、搾取、土地の所有権、貧困などの問題に取り組んでいます。

4. 認証油の拡大

RSPO認証油の購入比率 (2017年～2019年)

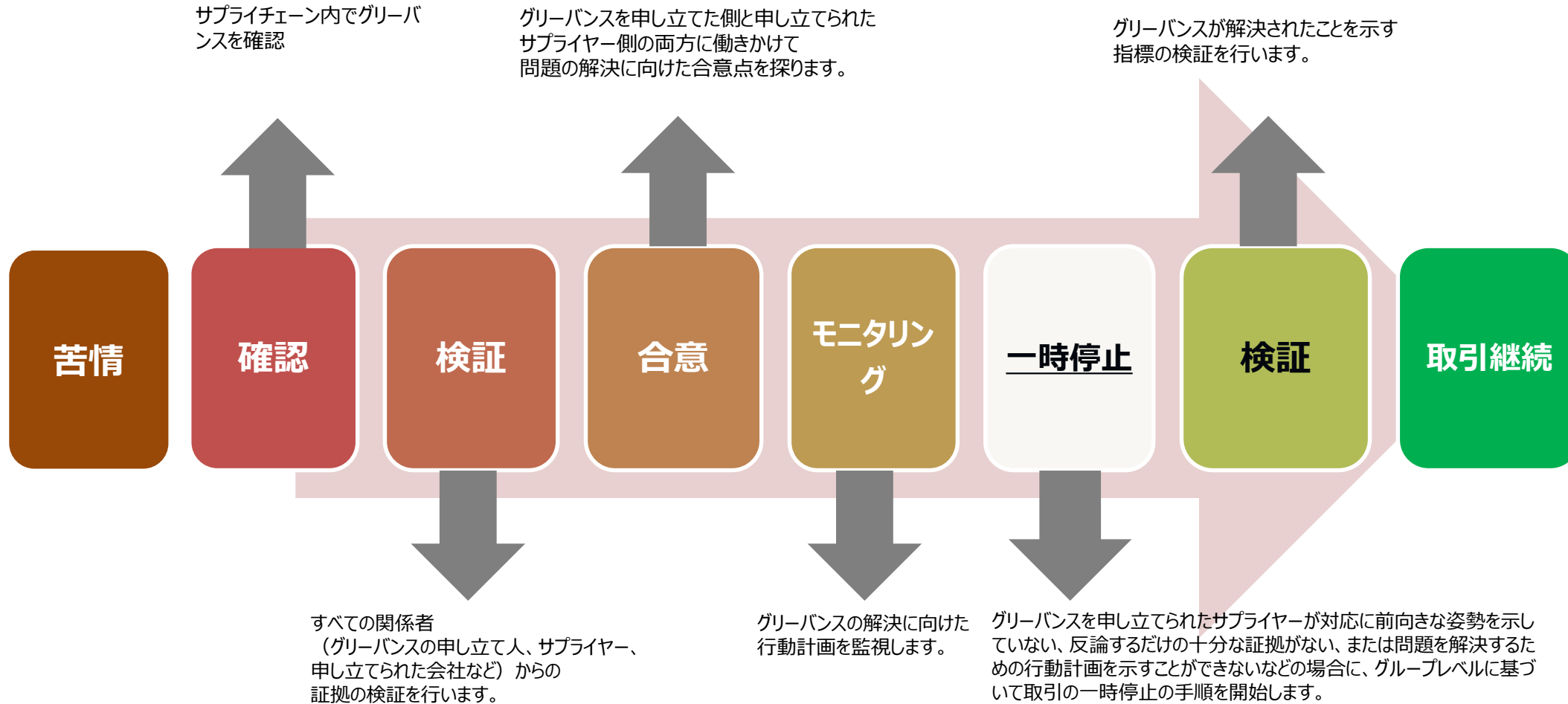


UNIFUJI

- 2018年にUnited Plantation社（マレーシア）との合併会社設立
- RSPO認証油の普及に合わせた供給体制の確立
- UNIFUJIの稼動により2019年度のRSPO認証油の購入率が向上

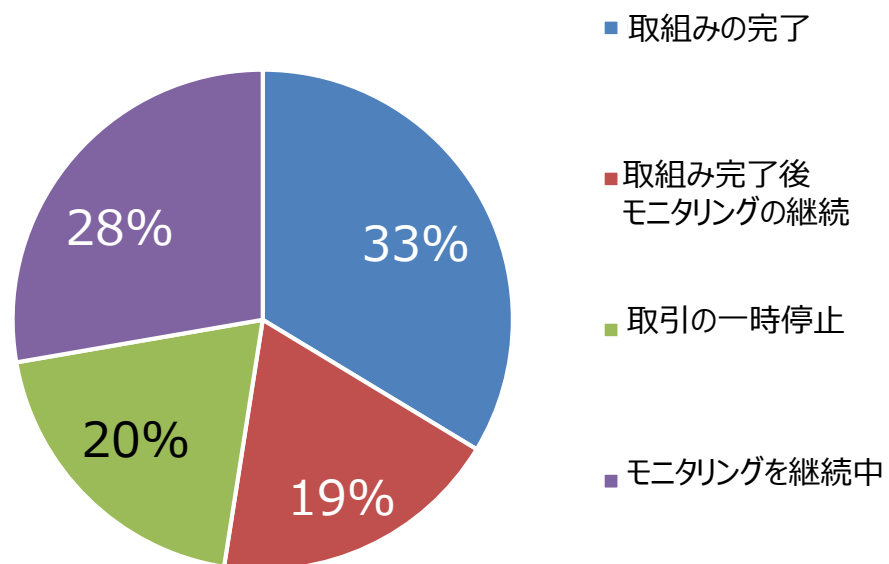
5.グリーンバンスメカニズム（苦情処理システム）

（2018年開始 2020年4月、取引の一時停止とエンゲージメントの手順を含め改訂）



5. グリーバンスメカニズム（苦情処理システム）の成果

グリーバンスリストの状況



*2020年6月末現在

ディスカッション



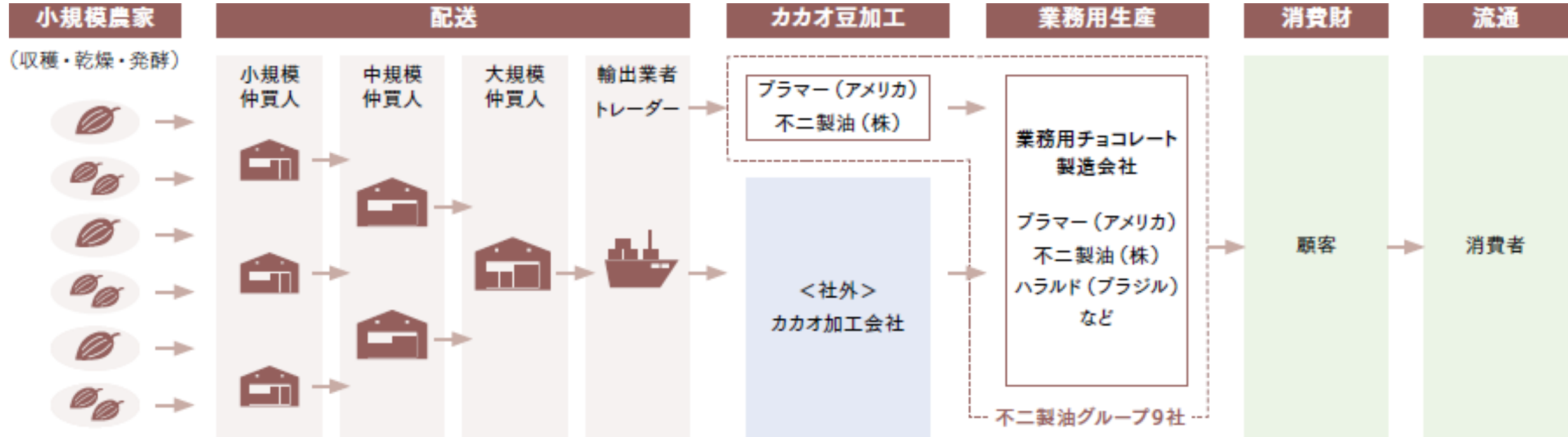
WWF 南様

(ファシリテータ)
CEO補佐 河口 眞理子

取締役 上席執行役員
C"ESG"O
門田 隆司

執行役員 油脂・チョコレート
事業部門長
科野 裕史

カカオサプライチェーン



カカオ：最重要課題

● 児童労働撤廃

- コートジボワール/ガーナで根強く残る児童労働問題
- 今も210万人もの子どもたちがコートジボワール/ガーナのカカオ産業で働いている
- 子どもの生活環境改善のためには、質の高い教育の提供、家庭での栄養健康、家計収入の増加が求められる

● 森林再生

- 1986年から2015年までにコートジボワールの森林の46%が消失
- 森林保護区内に何千もの農家（コミュニティ）が存在
- 生物多様性の喪失。長期的には気候変動への影響が懸念される

児童労働撤廃に向けた取り組み 最悪の形態の児童労働(WFCL) の撤廃



エクアドル/コートジボワールで行っていたサステナブルプログラムのガーナにおける展開



コートジボワール/ガーナにおけるサプライチェーンの100%把握



コートジボワール/ガーナのサプライチェーンにCLMRSを100%導入



Jacobs FoundationのCLEF/ELANプログラムに参画



コートジボワール/ガーナにおける
森林保護区での農園乱開発防止



森林再生を促進するための苗木の植樹



世界カカオ財団のカカオおよび森林イニシアチブ*におけるパートナーシップに賛同・実施

*) Cocoa and Forest Initiative (C&FI)

ディスカッション



ACE 白木様

(ファシリテータ)
CEO補佐 河口 真理子

取締役 上席執行役員
C"ESG"O
門田 隆司

執行役員 油脂・チョコレート
事業部門長
科野 裕史

質疑応答

事前問い合わせ、チャットでの質問にお答えします。
時間内に回答できない場合がございます。
その際は後日、取材、メールなどで対応させていただきますので
ご了承ください。

ご参加のほどよろしくお願いいたします

**2020年7月20日（月）
15：00～16：15**